

学会ホームページ <http://jasce.jp>

030号(2016年1月9日)

目次

2016年 年頭のご挨拶
次期大会開催地からのご挨拶
『協同と教育』への投稿募集中
会員情報の変更届
会費の納入のお願い
協同学習ワークショップ
出版情報
各地の研究会・勉強会

2016年 年頭のご挨拶

新春を迎え、本年が皆様にとって素晴らしい年になることを祈念いたします。

2004年生まれのJASCEの干支は申。今年は年男(年女)です。学齢で言えば小学6年生。小学校の最上級学年として下級生の手本となりつつ、中学校という新しい世界に畏れと憧れを抱く、そんな年回りでしょうか。

実質の会員数も300を大きく超え、校種、分野を問わず、「協同」の魅力を語る輪が広がっています。むろん「協同」教育と一口にいても、色々なアプローチがあります。ワークショップなどの折に、彼此的違いを尋ねられることもしばしばです。そんな時私は、桜か梅かと気にするよりも、まずは花咲く春を愛でませんか、と思います。協同の大地に咲く花はさまざまに、多様だからこそ面白いのに、と思います。

さて、年頭に当たり少しだけ、今年の活動を展望しておきたいと思います。2月末にJASCEが共催する形で協同教育に関するシンポジウムがあります(詳細は間もなくHPに掲載)。国際協同教育学会のLynda Baloch

先生が久しぶりに来日されます。

3月からは、別府を皮切りに、例年通り各地でワークショップがスタートします。ご関心のある方はHPからお申し込みください。そしてワークショップと云えば、待望されて久しい?マスター講座が計画されています。1月の理事会で詳細が決まり次第、ご案内できるでしょう。

夏には3年ごとの役員選挙があります。3月末の時点で会員資格のある皆さんが対象になります。新たに選ばれた理事の皆さんのデビューは秋に三重大を会場に開かれる第13回大会からです。新しい時代を開く、素敵な方々が選ばれるのを楽しみにしています。

大会以降は、新しい執行体制がスタートします。小学校から大学まで、アクティブラーニングという言葉だけが先行していますが、現場での取り組みも一層進むでしょう。いよいよ本学会員の皆さまの出番です。会としても、まずは各地に広がる研究会や協同カフェの動きを支援し、様々な形で皆さまの活動を応援したいと思います。

2016年1月1日

日本協同教育学会
会長 関田一彦

次期大会開催地からのご挨拶

次回大会につきましては、2016年11月5日(土)~6日(金)に三重大において行われる予定です。また、大会前日の2016年11月4日(金)には、プレ大会として実践校における授業の参観ならびに検討会の開催を予定しております。次回大会では、最近注目が高まっているアクティブラーニング

をテーマにしながら、皆様と議論できる機会を作ることができればと考えております。参加申し込み等の詳細につきましては、次号以降のニュースレターにおきまして、随時、ご報告いたします。



『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿は随時受け付けております。現在、投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに数ヶ月を要しております。編集委員会では学会機関誌『協同と教育』第12号(2016年発行)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

会員情報の変更届

年度がわりの異動や転居などともなっており、所属・住所・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会ホームページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。

(<https://www.jasce.jp/php/1044form.php>)

会費の納入のお願い

今年度(2015年4月~2016年3月)会費支払いがまだの方は早急の納入をお願いいたします。3年度を超えて会費が未納となった場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。

JASCE

協同学習ワークショップ

●<一日研修>を開催

2015年11月29日(日)朝10時から夕方4時半、中京大学名古屋キャンパスで協同学習ワークショップが開催されました。参加者は26名。講師は、有本高尉先生(日本協同教育学会認定トレーナー)と水谷茂先生(元小学校校長)。協同学習の考え方、協同学習を用いた授業づくり、明日の授業に役立つ協同学習の基本的な手順、参加者自身が協同学習を通して体験的に学びました。



●水谷茂の協同学習実践講座

2015年10月25日(日)朝10時から夕方4時半、犬山市を中心として協同学習を追究してきた実践者、水谷先生による講座が中京大学名古屋キャンパスで開催されました。参加者

は12名。内容は、①協同学習に基づいた模擬授業体験(俳句の授業)、②協同学習の理論に基づいた授業づくりのプレゼン、③授業ビデオ・小学校6年算数「速さ」の視聴、④模擬授業と授業視聴から学んだことの交流でした。参加者から「教師の仕掛けが子どもたちの活動量と達成感につながるということを改めて感じました。」「みんなのできるようになるためには、みんなの力が必要だということが分かったので、今日の先生の授業から盗めるところは盗んで、明日からの授業に生かしていきたいと思います。」などの感想をいただきました。

●<一日ワークショップ>

(講師派遣)を北海道で開催

12月28日(月)、「空知元気の出る研究会(空気研)」主催で北海道砂川市で開催されたワークショップに小学校から高校まで14名の先生方が雪の中お集まりいただきました。講師は関田一彦先生(創価大学)。アクティブラーニングが喧伝される背景から、安易なグループ学習の危うさ、協

同学習の視点と授業づくり、といった流れで朝10時から夕方4時半まで密度の濃い学びの時間を過ごしました。

●学会ワークショップ 今後の予定

○ベーシック

3月12日(土)~13日(日)

会場:(別府市)別府市男女共同参画センター あす・べっぷ 2F会議室

講師:秦喜美恵・安永悟

○ベーシック

3月20日(日)~21日(月)

会場:創価大学(八王子市)教育学部棟4階 B405教室(受付)

講師:太田昌宏

○アドバンス

3月20日(日)~21日(月)

会場:創価大学(八王子市)教育学部棟4階 B405教室(受付)

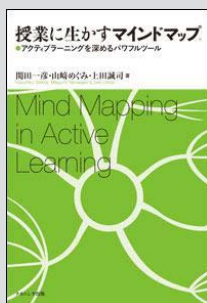
講師:伏野久美子

※受付状況は日々変化します。お申し込み方法は以下のアドレスにあります。(https://www.jasce.jp/1031workshop.php)

出版情報

●授業に生かすマインドマップ:アクティブラーニングを深めるパワフルツール

個人思考を促すミニマップ、集団思考を助けるグループマップ、協同学習のツールとしてのマインドマップの可能性についてヒントが得



られる本です。大学の先生方を対象にした本ですが、マップの描き方(描き方の指導の仕方)も詳しく書かれているので、どなたにも役立つことでしょう。関田一彦、山崎めぐみ、上田誠司著。ナカニシヤ出版。

●グループディスカッションのためのコミュニケーション演習:賛否両論図を用いたアクティブラーニング

大学生の論理的グループディスカッションを促進することを狙いとし、そのスキル育成のための補助教材として

作られたものです。議論のための論理の基礎と、感情に流されないコミュニケーションの基礎を学び、演習を通して的確に状況を整理し議論する力を培う内容です。学生のディスカッションスキル開発に有効活用できる本です。西口利文著。ナカニシヤ出版。



各地でワークショップや研究会が精力的に行われています。学会HPでご確認ください。

また、会員による実践研究会等の開催や本の出版等がありましたら広報委員会(koho@jasce.jp)まで情報をお寄せください。

JASCE

各地の研究会・勉強会

(東京・関東地域)

協同教育カフェ in 八王子

◇今後の開催予定

日時:1月16日(土)13:30から16:30

会場:創価大学教育学部棟

連絡先:関田一彦

(sekita@soka.ac.jp)

協同教育プロジェクト・国際シンポジウムとワークショップ

創価大学協同教育研究推進プロジェクトとの共催で、2月27日(土)・28日(日)の両日、IASCE(国際協同教育学会)会長のLynda Baloche先生をお招きして国際シンポジウムとワークショップを開催します。

27日(土)午後は、Lynda Baloche先生(逐語通訳付)、Sarkar Arani Mohammammad Reza先生(名古屋大学准教授:教師教育学)による小講演のあと、両先生をメインパネラーにしたシンポジウムを行います。翌28日(日)午前にはワークショップを予定しています。会場は創価大学教育学部棟の予定です。詳細は決まり次第、学会HPでご案内します。

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇1月例会のご案内

南筑高等学校(福岡県久留米市)の石山信幸先生(数学)を、名古屋にお招きしてアクティブラーニングの実践研究会を開催します。発表タイトルは「『形』を使って『心』から入る協同学習」です。授業の目標は「生徒の成長」です。生徒が考える時間を最大限確保して教科書理解を徹底的に進めるユニット制によって、予習を含めて意味ある学習時間が激増し、授業が加速していきます。

日時:1月31日(日)13:30~17:30

会場:名古屋大学教育学部

第3講義室

連絡先:水野正朗

(mizunokita@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇今後の開催予定

日程:2016年1月29日、3月18日。

1月29日は関田一彦会長をお迎えします。次年度の授業実践に役立つ研究会にしていきます。

時間:19:00~21:00

会場:グランフロント大阪北館2階

「ナレッジキャピタル The Lab」

アクティブスタジオ

連絡先:緒方巧(梅花女子大学)

t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇協同学習研究会 EXTRAのご案内

日時:2016年1月23日(土)13:30~15:30(通常よりも開始時刻及び終了時刻が早くなっています)

会場:岡山大学教師教育開発センター東山ランチ(いつもどおりです)

内容:「個を生かし集団を育てる学習」について、高旗が講話を行います。「協同学習」のひとつの考え方として、日本の授業実践に確固たる地位を築いてきた「個集研」の理論・考え方についてお話しします。

※今回のEXTRAは「個集研:個を生かし集団を育てる学習研究協議会」の岡山支部(会長:國府島知子先生(岡山市立御南小学校長))の例会との共催になります。個集研の概要については下記URLをご参照ください。
<http://koshuken.main.jp/> 本会のご紹介/

◇今後の開催予定

第4回:平成28年3月5日

鳥取県立智頭農林高等学校のご発表

時間:14:00~17:30

会場:岡山大学教師教育開発センター東山ランチ

参加を希望される方は、事前に高旗までメールでご照会ください(会場の関係で定員を設定しています)。また、次年度以降の発表希望の申込みも受け付けています。

連絡先:高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇12月研究会の報告

12月研究会を2015年12月12日(土)、13時から久留米大学御井キャンパス・学生会館ミーティング=ルーム3で開催しました。増井沙奈江・安永悟先生(久留米大学)が「協同教育が求める協同の認識-協同認識尺度の開発-」について研究報告した後、木村美奈子先生(九州女子大学)による研修「学習評価のためのルーブリック作成(体験)」を行いました。

◇今後の開催予定

2016年の開催日程が次のように決まりました。

日時:2月20日(土)、5月7日(土)、9月24日(土)、11月26日(土)は午後1時~午後5時。7月23日(土)は協同教育フェスタで午前10時~午後5時。

場所:久留米大学御井キャンパス
各イベントの参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします。

(<http://yasunaga.me/wiki.cgi>)

連絡先:安永悟

yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp